

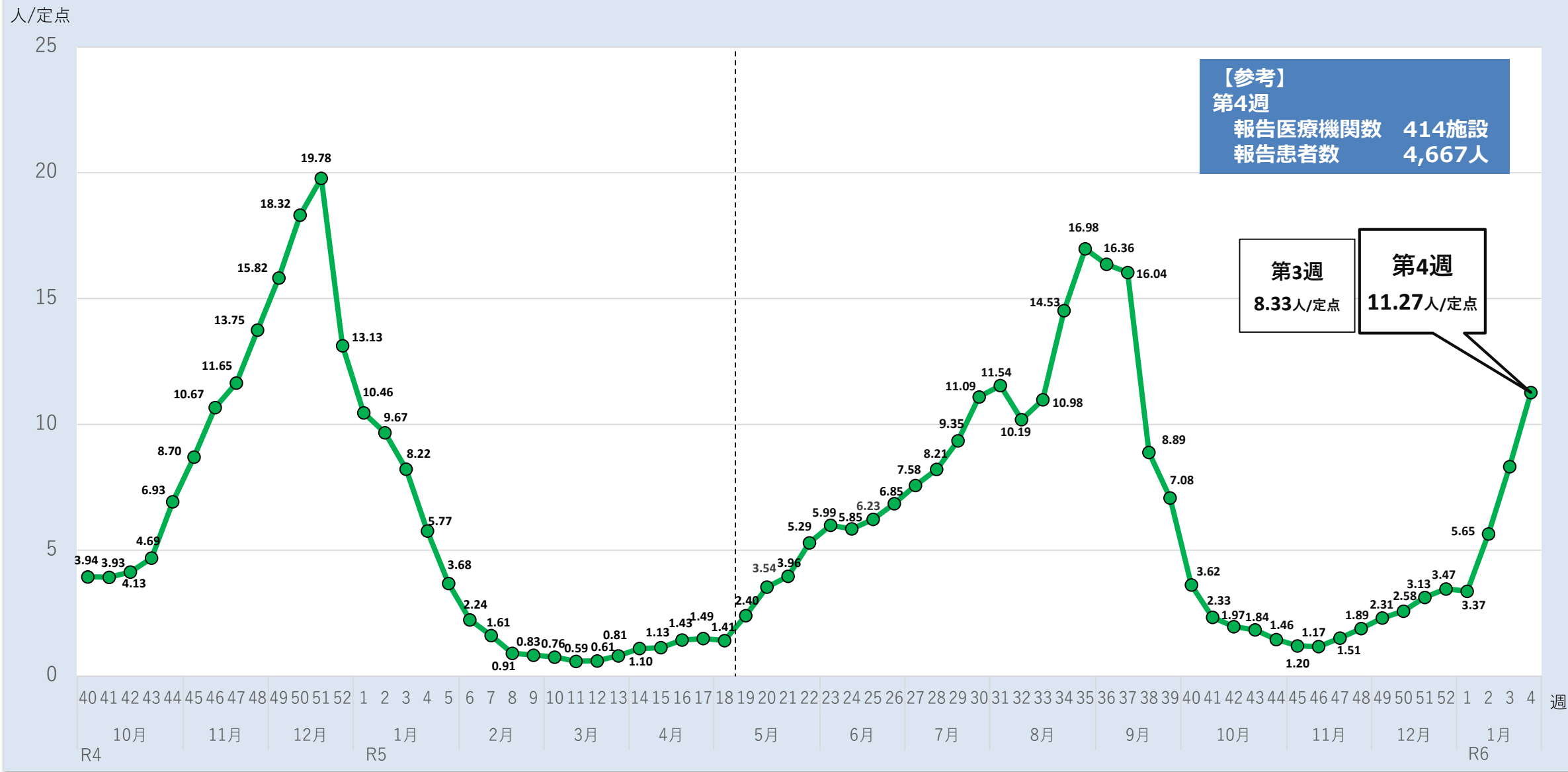
モニタリング項目		今週	前週
※①は7日間の合計、②③は7日間移動平均で算出 ※⑤は上位3つの変異株の割合を抽出		(令和6年2月1日 公表)	(令和6年1月25日 公表)
感染動向	① 定点医療機関当たり患者報告数 【定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数】	11.27人/定点 (第4週(1/22-1/28))	8.33人/定点 (第3週(1/15-1/21))
	② #7119(※1)における発熱等相談件数 【7日間移動平均】	98.3件 (1/31)	106.9件 (1/24)
医療提供体制 への負荷	③ 救急医療の東京ルールの適用件数(※2) 【7日間移動平均】	150.9件 (1/31)	192.7件 (1/24)
	④ 入院患者数 【入院患者の総数】	1,599人 (1/29)	1,510人 (1/22)
変異株監視	⑤ 病原体サーベイランス (ゲノム解析) 【都内検体の直近のゲノム解析結果】	JN.1 (BA.2.86の亜系統)	58.3% (1/8-1/14)
		EG.5 (XBB.1.9.2の亜系統)	29.2% (1/8-1/14)
		BA.2.86	9.7% (1/8-1/14)
【参考】VRSデータによる都民のワクチン接種状況 令和5年秋開始接種（令和5年9月20日開始）高齢者（65歳以上）		52.3% (1/28)	

**専門家による分析**

- 定点医療機関当たり患者報告数は大きく増加し、10代以下及び40代の増加が顕著である。
- 免疫逃避性が高いとされる変異株JN.1への置き換わりが進んでおり、今後の感染拡大に注意が必要である。
- 発熱等相談件数は横ばい、東京ルールの適用件数は減少したものの高い水準が続いている。
- 入院患者数は横ばいとなったが、新型コロナ以外の疾患による医療需要の増加と相まって、医療提供体制への影響が出ている。
- 場面に応じたマスク着用、手洗い、換気などの基本的な感染防止対策とともに、体調が悪いときは外出を控えることを引き続き周知する必要がある。
- 高齢者や基礎疾患を有する方は、重症化を防ぐためにも、ワクチン接種が望ましい。3月末までは、生後6か月以上の全ての方が無料で接種可能である。

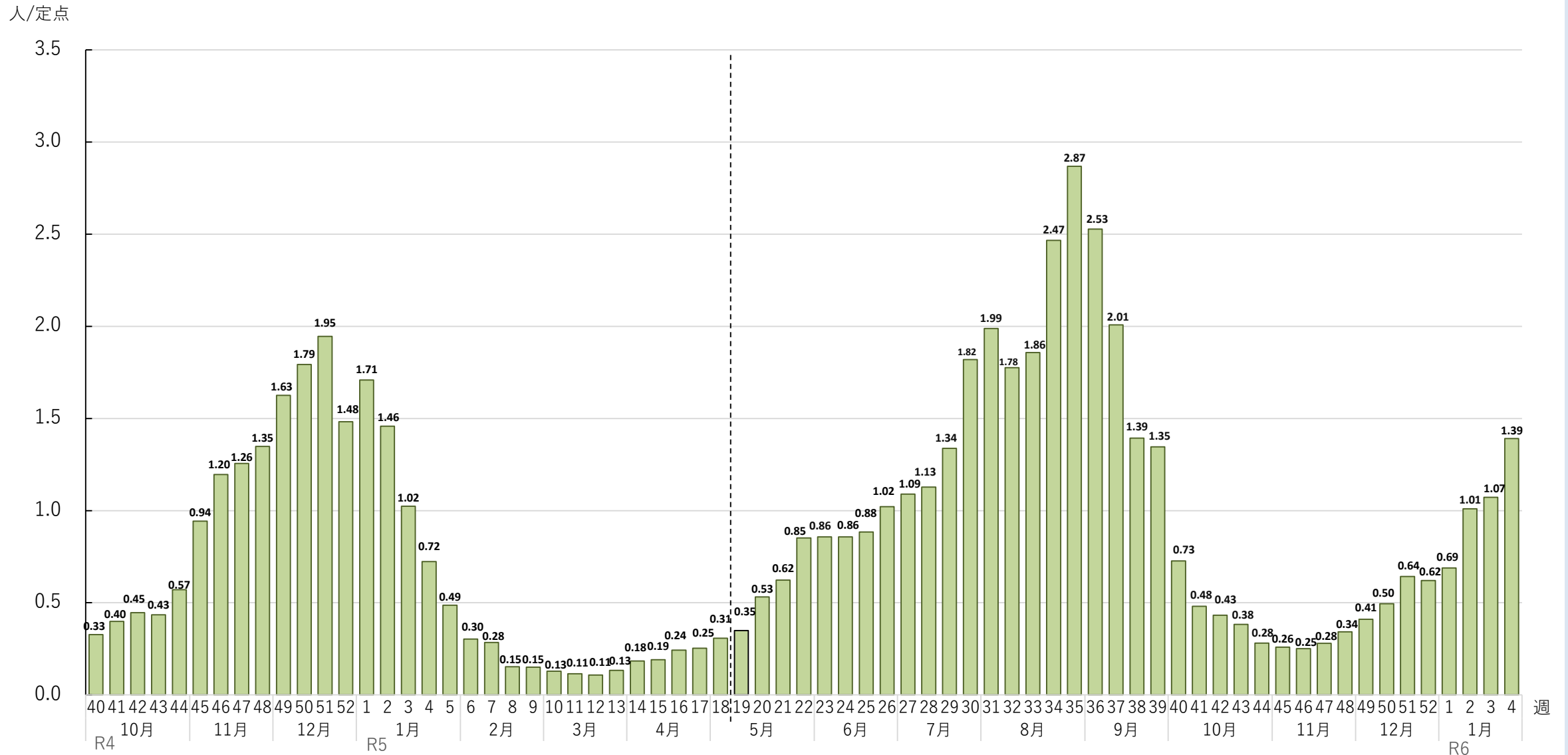
※1 東京消防庁救急相談センター。急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口  
 ※2 救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

# ①-1 定点医療機関当たり患者報告数



(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

## ①-2 60歳以上の定点医療機関当たり患者報告数



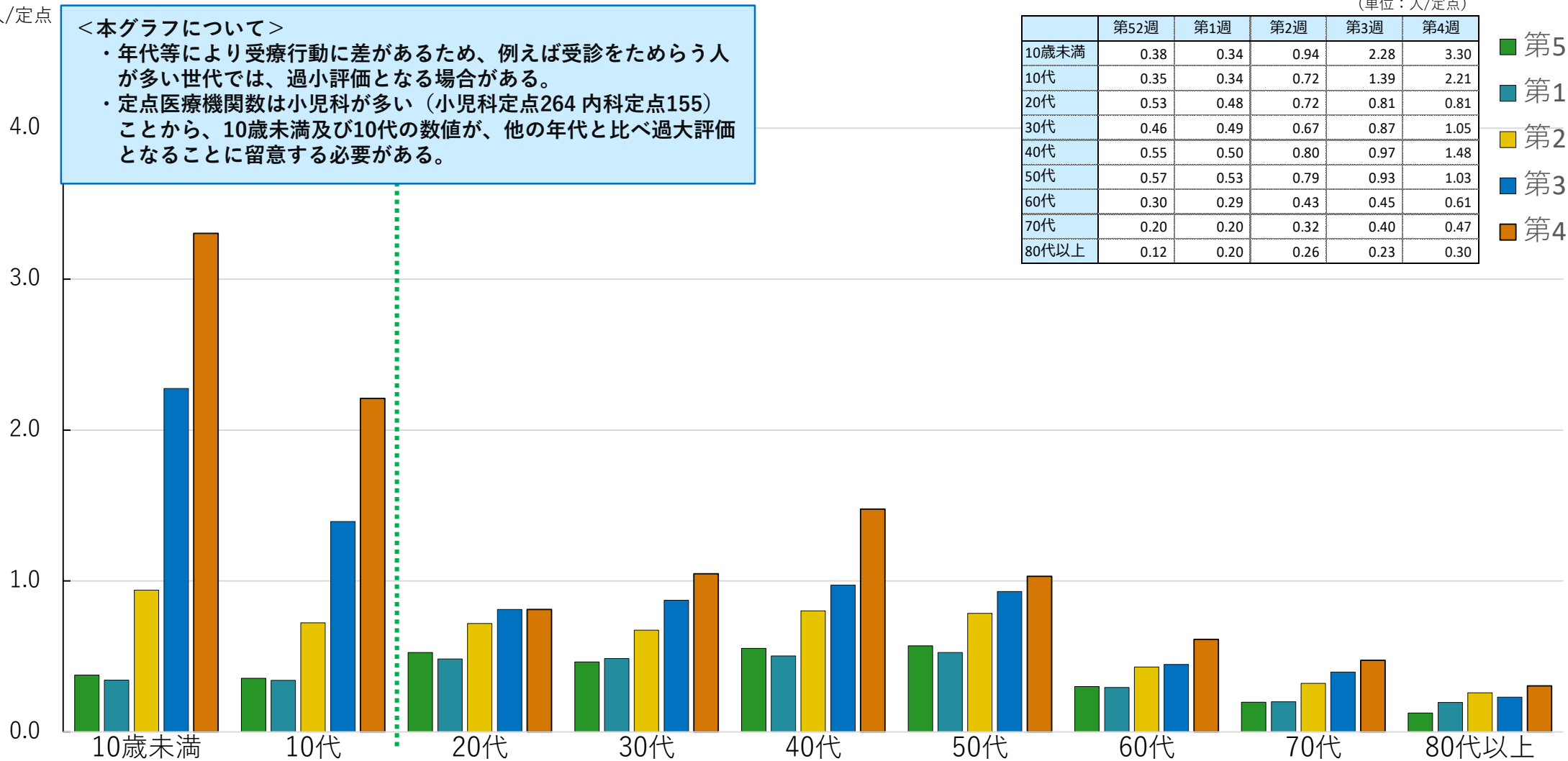
(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

### ①-3 定点医療機関当たり年代別患者報告数

人/定点

<本グラフについて>

- ・年代等により受療行動に差があるため、例えば受診をためらう人が多い世代では、過小評価となる場合がある。
- ・定点医療機関数は小児科が多い（小児科定点264 内科定点155）ことから、10歳未満及び10代の数値が、他の年代と比べ過大評価となることに留意する必要がある。



(単位：人/定点)

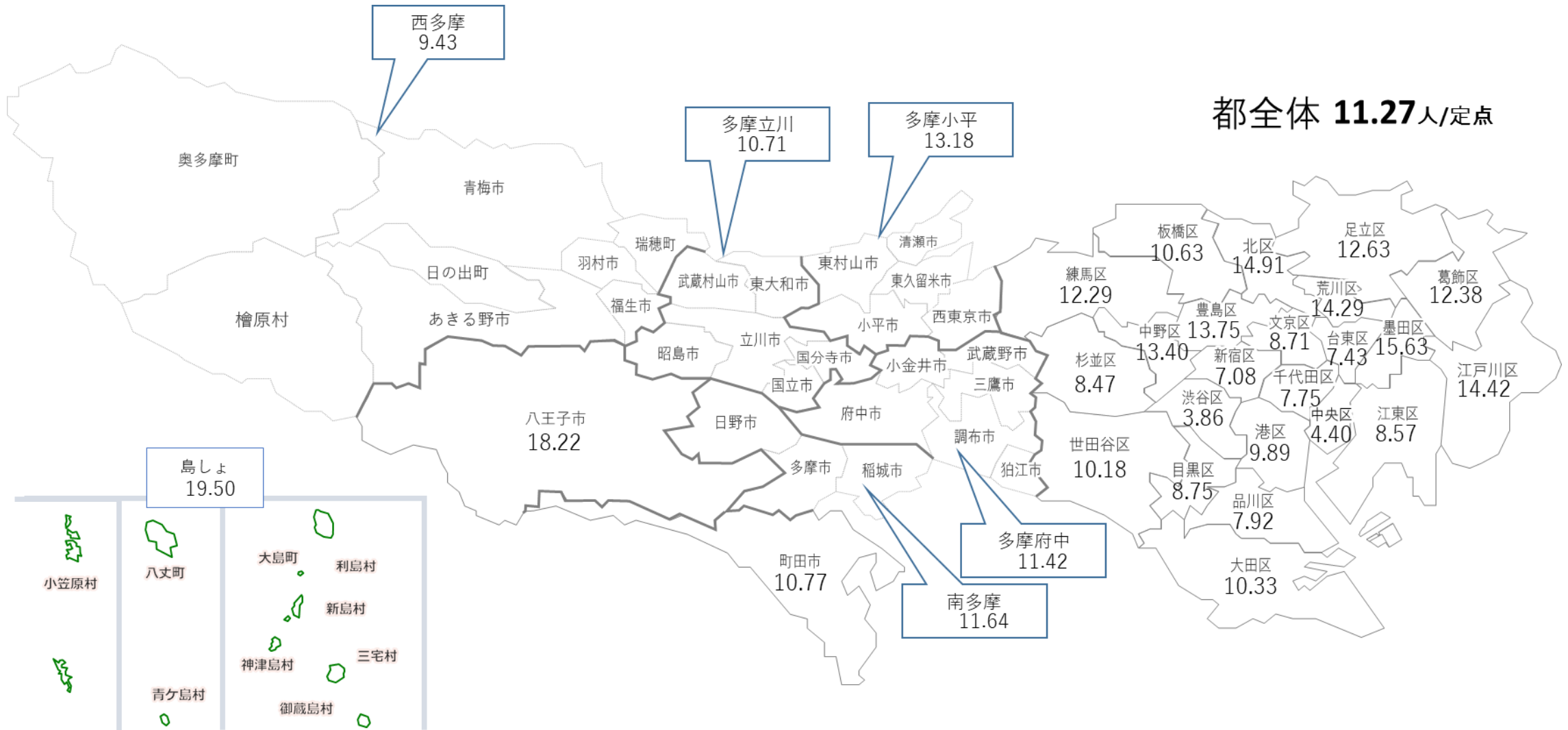
	第52週	第1週	第2週	第3週	第4週
10歳未満	0.38	0.34	0.94	2.28	3.30
10代	0.35	0.34	0.72	1.39	2.21
20代	0.53	0.48	0.72	0.81	0.81
30代	0.46	0.49	0.67	0.87	1.05
40代	0.55	0.50	0.80	0.97	1.48
50代	0.57	0.53	0.79	0.93	1.03
60代	0.30	0.29	0.43	0.45	0.61
70代	0.20	0.20	0.32	0.40	0.47
80代以上	0.12	0.20	0.26	0.23	0.30

- 第52週
- 第1週
- 第2週
- 第3週
- 第4週

(注1) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

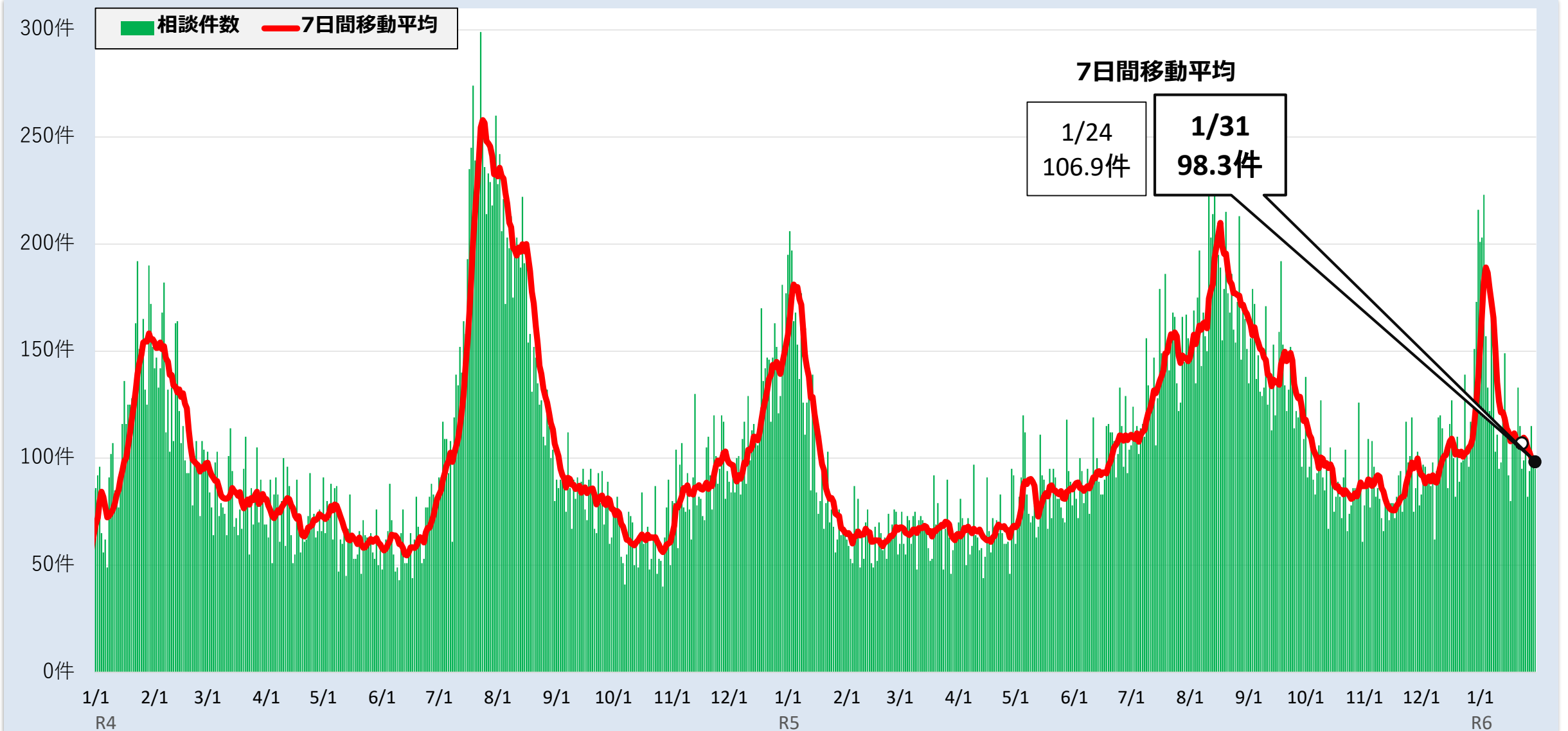
(注2) 年代別の定点当たり報告数は小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計しても、必ずしも総数とは一致しない

# ①-4 定点医療機関当たり患者報告数(保健所区域別、第4週(1/22~1/28))



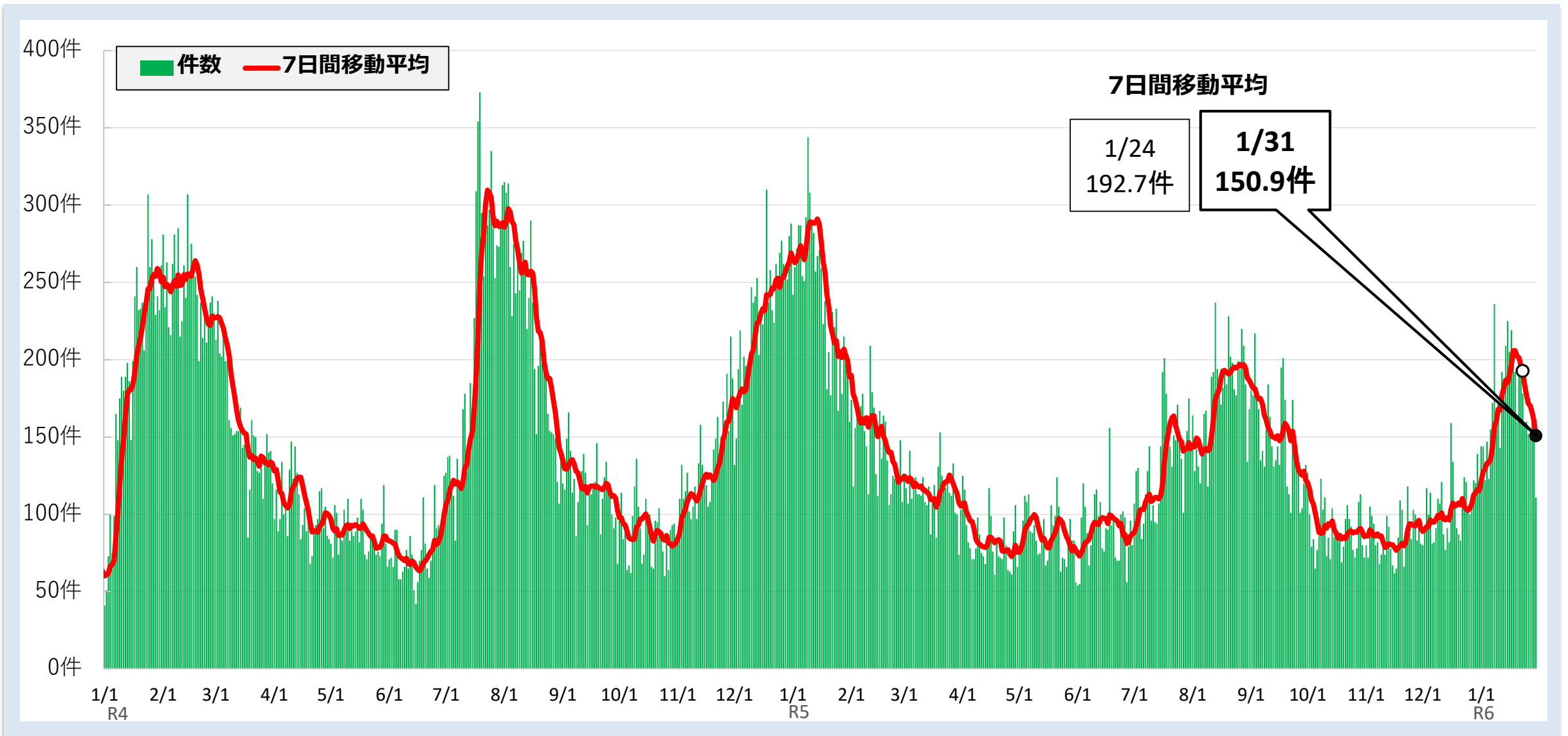
(注) 各保健所の定点医療機関から報告のあった患者数/各保健所の報告のあった定点医療機関数

## ② #7119における発熱等相談件数



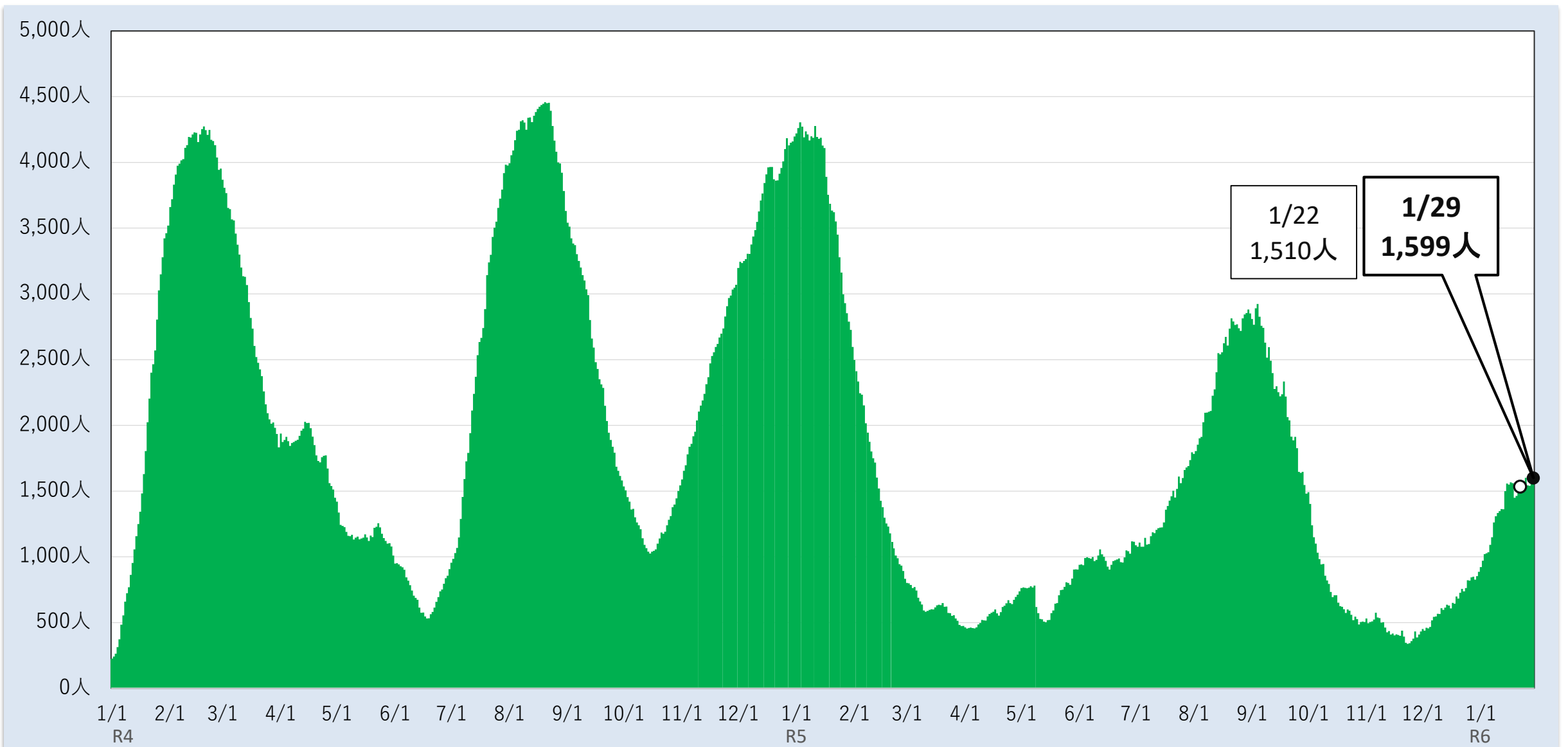
(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

### ③ 救急医療の東京ルールの適用件数



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を適用件数として算出

## ④ 入院患者数

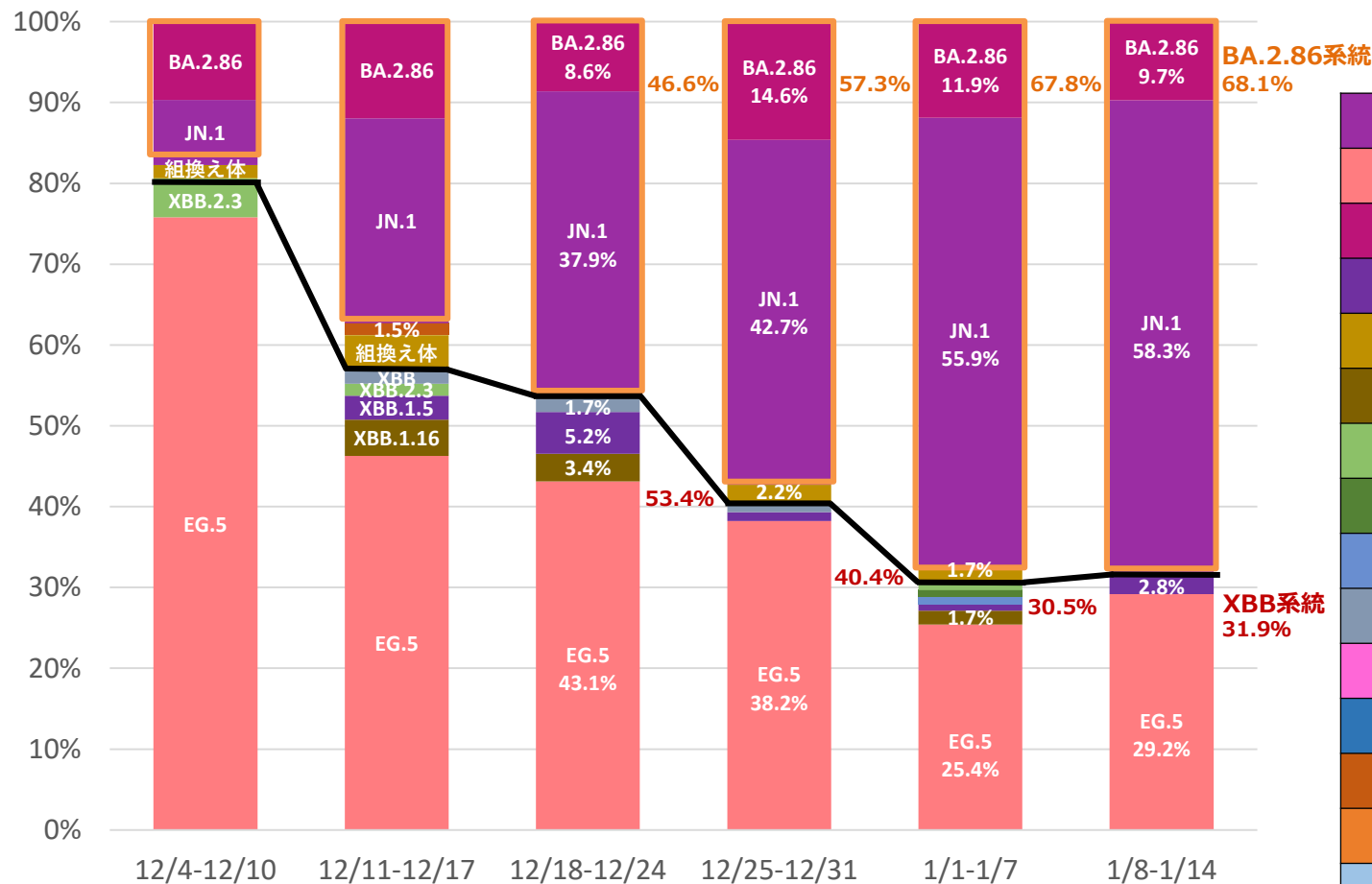


(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある



# ⑤ 病原体サーベイランス（ゲノム解析）

（令和6年2月1日12時時点）



	1/1-1/7	1/8-1/14	増減	(実数)	
				1/1-1/7	1/8-1/14
JN.1 (BA.2.86の亜系統)	55.9%	58.3%	↑	66	42
EG.5 (XBB.1.9.2の亜系統)	25.4%	29.2%	↑	30	21
BA.2.86	11.9%	9.7%	↓	14	7
XBB.1.5	0.8%	2.8%	↑	1	2
組換え体 (XBB以外)	1.7%	0.0%	↓	2	0
XBB.1.16	1.7%	0.0%	↓	2	0
XBB.2.3	0.8%	0.0%	↓	1	0
XBB.1.9.1	0.8%	0.0%	↓	1	0
XBB.1.9.2	0.8%	0.0%	↓	1	0
XBB	0.0%	0.0%	→	0	0
BA.2.75	0.0%	0.0%	→	0	0
BQ.1.1	0.0%	0.0%	→	0	0
BN.1	0.0%	0.0%	→	0	0
BA.2	0.0%	0.0%	→	0	0
BA.5	0.0%	0.0%	→	0	0
BQ.1	0.0%	0.0%	→	0	0

※1.0%pt以上の増減   
 0.5%pt以上の増減

※ 都内検体の、過去6週に報告を受けた、ゲノム解析の実績(速報)

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

※ BA.2、BA.2.12.1、BA.2.75、BA.2.86、BN.1はそれぞれ別々に計上。BA.4とBA.4.6は別々に計上。BA.5、BF.7、BQ.1、BQ.1.1はそれぞれ別々に計上。XBB.1.5、XBB.1.9.1、XBB.1.9.2、EG.5、XBB.1.16、XBB.2.3はそれぞれ別々に計上(XBBは左記以外のXBB系統)。(報告時点でのPango系統による)